

総合的な学習の時間（NSタイム） 全体計画

○教育基本法
○学校教育法
○学習指導要領
○東京都教育委員会教育目標
○新宿区教育委員会教育目標

○学校の教育目標
人間尊重の精神を基盤とし、国際的視野に立ち、
真理と平和を求め、人間性豊かな人を育成する。

ア 自ら鍛え心身ともに健康な人
イ 自ら考え進んで実行する人
ウ 自ら学び続ける人

○学校・家庭・地域の実態
○地域の期待や願い
○保護者の期待や願い
○生徒・家庭・地域社会の実態
○時代や社会の要請

○総合的な学習の時間の目標（『学習指導要領』文部科学省 平成29年3月）

探求的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成する。探求的な学習の過程において探求的な学習のよさを理解できるようにする。実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を見つけて整理・分析してまとめ・表現することができるようにする。さらに、主体的・協働的に取り組むとともに、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

○本校における総合的な学習の時間の重点（令和5年度 本校教育課程 第1表）

「総合的な学習の時間」では、各教科、特別活動との関連を十分に図りながら、キャリア教育を充実させる。またスクール・コーディネーターとの連携を密にし、地域の人々の協力と支援のもとに、生徒に学び方を身に付けさせるための体験的な活動や環境教育、言語活動等を一層充実させる。特に地域協働学校運営協議会を活用した行事や活動等を通して人材を育成する。

○生徒の実態

示された課題に対して、情報収集を行ったり、それらを活用してまとめたりすることは、比較的できる。また、グループ活動においても協力し、課題解決に努めることができる。自ら課題を見つけ、追求し解決しようとする力に関して課題が残る。

○具体的な重点項目

- ①自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考える能力の育成。
- ②タブレットパソコンなどのICT機器を積極的に活用させた情報収集能力や情報活用能力の向上。
- ③地域の人材や専門性を有する人材との協働を通じた学習活動。
- ④防災教育を充実させる一環としての、救命講習会の実施（1年・3年）。

○各学年における具体的な確かな学力の育成の重点（経営案）

1 学年	各教科から学んだこと生かし、個人やグループで、課題を解決するための情報収集、情報の活用、まとめ、発表できる能力を向上させることにより、生きる力を育成する。
2 学年	社会体験活動として職場体験を実施し、働くことの苦勞とともに喜びを体験させる。また、地域社会の力を借りて、多面的に進路を考えさせる。
3 学年	上級学校訪問や出前授業などの体験活動を通して、進路を幅広く捉え、正しい知識の中から自分の進路を考えさせる。
E 組	ハローワークや地域の企業等との連携をとり、職場見学、校内実習、職場体験学習、職場実習を経験することにより、望ましい職業観や勤労観、学ぶ意欲や態度を育て生涯にわたってたくましく生きる力を身に付けさせる。

○各教科における具体的な確かな学力の育成の重点

国語	プレゼンテーション等の授業を通し、テーマについて必要な情報を集め、論理的に説明する力を育てる。	美術	自ら構想し、主体的に判断し、よりよい作品を制作しようとする資質や能力を育成する。
社会	自らのたてた課題をもとに、適切な資料を収集し、探求した結果をまとめる力をつける。	保健体育	カード学習を活用し、自己を振り返り、課題を見つけ、解決することができる力を育む。
数学	課題の解決に数学を道具として用いることが有効であり、分類したり処理したり、表やグラフにする能力を養う。	技術・家庭	家庭や社会での課題を解決するために、必要な情報を収集し、自分なりの課題解決に繋げる力を養う。
理科	自ら計画して実験調査を行う学習を通して、主体的に問題解決する能力を高める。	英語	コミュニケーション能力を高め、主体的に自分の意見を発信する態度や能力を育成する。
音楽	自ら過程を見つけ、よりよい表現活動をしていくために必要な学習方法を充実させる。		

令和6年度 総合的な学習の時間（NS タイム）年間指導計画

月	1 学年	2 学年	3 学年
4	ガイダンス 移動教室・事前学習	職場体験・事前学習	進路学習
5	運動会を題材とした学習	運動会を題材とした学習	運動会を題材とした学習
6	移動教室・当日・事後学習 職業インタビュー・事前学習	鎌倉校外学習・事前学習	修学旅行・事前学習
7	オリンピック・パラリンピックを題材とした学習	オリンピック・パラリンピックを題材とした学習	オリンピック・パラリンピックを題材とした学習
8			
9	職業インタビュー・事後学習	鎌倉校外学習・当日・事後学習	修学旅行・当日 修学旅行・事後学習
10	学芸発表会を題材とした学習	学芸発表会を題材とした学習 職場体験・事前学習	学芸発表会を題材とした学習
11	東京探訪・事前学習	職場体験・当日・事後学習	卒業論文
12	東京探訪・事前学習	スキー教室・事前学習	卒論論文・進路設計
1	職場体験学習発表会への参加	スキー教室・当日・事後学習	進路設計
2	東京探訪・当日・事後学習 地域の人のお話を聞く会	進路学習 NS 発表会	進路設計 NS 発表会
3	NS 発表会		

総合的な学習の時間（NS タイム）評価計画

評価の観点

・人間関係形成能力 ・情報活用能力 ・将来設計能力 ・意思決定能力

評価の方法

上記、評価の観点に基づき、学期ごとに、ワークシート、発表、観察、自己評価表などをもとに、十分満足できる内容か、おおむね満足できる内容か、努力を要する内容かを評価し、その旨を文章により通知する。